

館山市立博物館年報

平成 30 年度版

はじめに

この年報は、平成30年度の館山市立博物館活動概要をまとめたものです。

前年度に収蔵された資料を紹介する「あたらしい資料のご紹介」展に続き、「美しいもよう」展では型紙・着物・器などの模様に着目し、見方・楽しみ方を前面に出した展示となりました。

地区の歴史・文化を紹介する「新・地区展 豊房」は、この新シリーズ7回目です。「豊かな水と暮らす人々」をテーマに、7つのコーナーで構成された展示は、身近で分かりやすいと好評でした。

2月には、久しぶりの特別展の開催でした。『房州と江戸・東京一海を行き交う人・モノ・文化一』展は、青山学院大学の落合 功教授の講演会、会期中の解説会・ワークショップ等の関連事業の充実に加え、一部展示資料を東京国立博物館、東京都立中央図書館、国文学研究資料館、江戸東京博物館からお借りし、総合的に見ごたえのある企画展として開催することができました。

展示事業に加え、教育普及事業では、館山に残る古文書から、その時代・風景を読み解く歴史教室「古文書を読んでみよう」や南総里見八犬伝を弁士が分かり易く解説する「活弁八犬伝」等。いずれも参加者が興味を抱き、楽しく学べる工夫がされているとの評価を頂きました。また、「甲冑を着よう」の事業も甲冑士の皆さんのご尽力により、入館者の期待が高い催しになっています。

最後になりますが、皆様に支えられ、魅力あふれる活動を推進する博物館を目指して、これからも工夫を重ねていく所存です。この年報をご覧いただき当館への一層のご理解・ご支援をいただければ幸いです。

令和元年9月30日

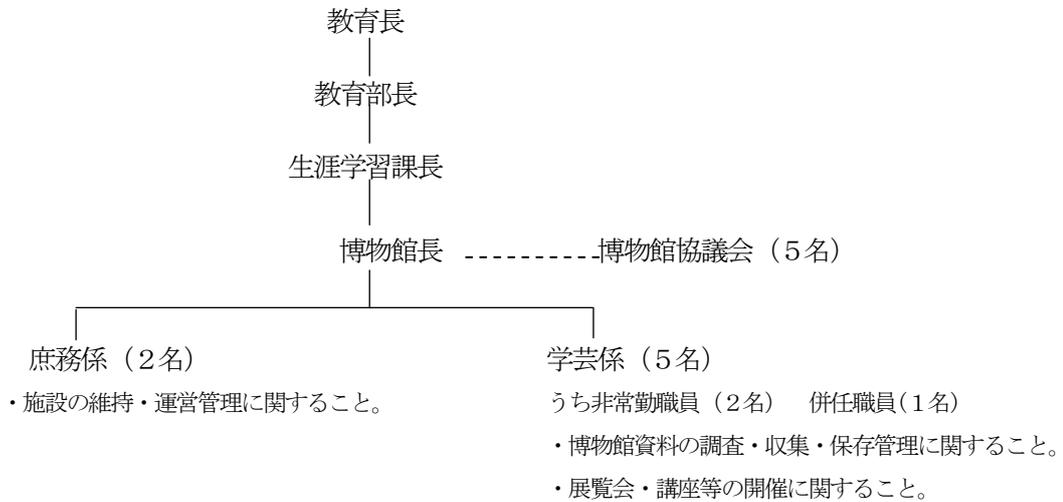
館山市立博物館長 溝江 晃

目 次

I 組織と運営	2
(1 組織図 / 2 施設 / 3 博物館協議会)	
II 利用状況	3
(1 入館者数 / 2 学校等の利用 / 3 資料の利用)	
III 展示活動	7
(1 常設展 / 2 企画展)	
IV 教育・普及活動	10
(1 印刷物の発行 / 2 講座・教室 / 3 博物館実習)	
V 調査・研究活動	14
(1 学芸員の活動)	
VI 資料の収集・保存	15
(1 新規収蔵資料 / 2 施設くん蒸)	
VII 例規	18

I 組織と運営

1 組織図



2 施設

名 称		所在地	沿 革
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年 (1983) 開館
	館山城 (八犬伝博物館)	館山市館山 351 番地の 2	昭和 57 年 (1982) 開館
館山市立博物館分館	“渚の駅” たてやま 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から旧安房博物館の移譲を受け、平成 23 年 (2011) 開館。

3 博物館協議会

(1) 委員

区 分	氏 名	役職名等
学識経験者	梶山 林繼	國學院大學名誉教授
学識経験者	清本 正人	お茶の水女子大学准教授
学校教育関係者	金房 努	館山市立館野小学校長
社会教育関係者	石井 則子	館山市社会教育委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	須田 啓子	館山市元家庭教育指導員

(2) 会議

- ◆開催日 平成 31 年 1 月 25 日 (金)
- ◆議題
 - 平成 30 年度事業報告について
 - 平成 31 年度博物館事業計画について
 - 指定管理者制度について 他

Ⅱ 利用状況

1 入館者数

(1) 本館・館山城入館者数

◆平成30年度月別

(人)

	合計	市 内			市 外			開館日数
		大人	小人	合計	大人	小人	合計	
4月	5,900	295	174	469	4,551	880	5,431	26日
5月	6,776	180	348	528	5,260	988	6,248	27日
6月	2,618	204	43	247	2,168	203	2,371	21日
7月	2,787	125	184	309	2,030	448	2,478	26日
8月	4,912	180	72	252	3,213	1,447	4,660	26日
9月	3,489	104	37	141	2,790	558	3,348	26日
10月	3,660	364	108	472	2,765	423	3,188	26日
11月	3,350	308	153	461	2,605	284	2,889	26日
12月	2,468	196	195	391	1,813	264	2,077	24日
1月	4,046	799	205	1,004	2,433	609	3,042	27日
2月	3,754	346	67	413	2,925	416	3,341	24日
3月	6,578	399	120	519	5,069	990	6,059	27日
合計	50,338	3,500	1,706	5,206	37,622	7,510	45,132	306日

◆年度別推移

(人)

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
56,235	61,406	51,740	65,970	63,565	65,809	59,286	50,338

参考) 分館 (“渚の駅” たてやま内 渚の博物館) 入館者数 (人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
89,679	136,194	171,300	167,229	204,399

(2) 展示別入館者数

展覧会名	会 期	入館者数 (人)
新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	H30. 4. 28～6. 10	9, 513
収蔵資料展「美しいもよう」	H30. 7. 28～9. 24	8, 364
新・地区展「豊房—豊かな水と暮らす人々—」	H30. 10. 6～11. 25	6, 493
特別展「房州と江戸・東京—海を行き交う人・モノ・文化—」	H31. 2. 2～3. 17	6, 183

2 学校等の利用 (おもなもの)

(1) 本館・館山城見学

30. 4. 24 市立豊房幼稚園 23 名	4. 17 市立那古幼稚園 44 名
4. 17 市立那古幼稚園 44 名	4. 26 市立館山幼稚園 114 名
4. 27 市立館野幼稚園 52 名	5. 1 市立北条小学校 128 名
5. 8 市立館山小学校 72 名	5. 9 市立第二中学校 88 名
5. 11 県立安房特別支援学校館山聾分校幼稚部 44 名	7. 10 市立館山小学校 76 名
7. 12 館山さざなみ学校 9 名	7. 31 船形放課後子ども教室 15 名
9. 20 市立船形小学校 7 名	10. 23 市立房南こども園 47 名
10. 18 市立館野保育園 37 名	11. 21 市内豊房小学校 16 名 (昔の暮らし学習ほか)
11. 28 市立那古小学校 54 名 (昔の暮らし学習)	12. 5 市立北条小学校 128 名
12. 7 市立西岬小学校 12 名 (昔の暮らし学習)	12. 11 市立館野小学校 27 名 (昔の暮らし学習)
12. 14 市立船形小学校 17 名 (昔の暮らし学習)	31. 1. 29 市立房南小学校 30 名 (昔の暮らし学習)
2. 7 市立九重小学校 15 名 (昔の暮らし学習)	3. 12 館山さざなみ学校 7 名

(2) 職場体験学習

30. 10. 30～11. 1 市立中学生職場体験学習 (チャレンジ感動 in 館山)	3 名
30. 11. 21 市立館山小学校児童	2 名

3 資料の利用

(1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
30. 4. 2	版画「里見八犬士之内」全 8 点 他	中京テレビ「ダマしてごめん！」
4. 5	安房上総御固図屏風	会津若松市戊辰 150 周年記念ドキュメンタリー番組
4. 10	クジラ解体写真	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」
4. 11	版画「新版狂言外題尽 里見八犬伝あらめ山の場」	『上毛国語』第 83 号
4. 24	国分寺出土 三彩獣脚 他	安房国分寺パンフレット
4. 30	版画「大日本六十余州之内安房 里見の姫君伏姫」	アマチュア無線交信証

- 5.3 里見義豊書状（上野文書） 他 小高春雄『房総里見・正木氏の城郭と合戦』
- 5.8 焼玉エンジン 国華産業株式会社 70 年史
- 6.4 万祝（勝山醍醐組） 高遠實『烽火の海 ツチンボ捕りの幕末』
- 6.5 版画「北条九代記鴻之台合戦」 他 小高春雄『房総里見・正木氏の城郭と合戦』
- 6.14 醍醐新兵衛肖像画 高遠實『烽火の海 ツチンボ捕りの幕末』
- 6.29 版画「八犬伝忠勇揃」 他 テレビ東京「池の水ぜんぶ抜く大作戦」
- 7.3 版画「芳流閣両雄動」 第 37 回南総里見まつり広告
- 7.18 版画「里見八犬士之内」全 8 点 他 群馬県立土屋文明記念文学館企画展「『南総里見八犬伝』と群馬 # 浮世絵 # 絵草紙 # ジュサブロー人形」 広報印刷物・図録
- 7.20 版画「曲亭翁精著八犬士随一」全 8 点 他 金谷美術館特別展「金谷美術館流 南総里見八犬伝」 広報印刷物・図録
- 7.26 館山城展示風景 NHK E テレ「ハートネットTV」
- 8.1 版本『南総里見八犬伝』106 冊 市原市立辰巳公民館HP掲載
- 8.2 勝山調「さんま網の図」 他 DVD『東京湾の漁業～小型底引き網漁』
- 8.12 大寺山洞穴出土 須恵器・土師器・舟棺 他（総持院所蔵） 和歌山県立紀伊風土記の丘特別展「黒潮の海に糧をもとめて」 広報印刷物・図録
- 8.21 「安房震災写真帖」 所載写真 千葉テレビ「ウィークリー千葉県」
- 8.21 岩崎巴人「火宅」 碧南市藤井達吉現代美術館他巡回展「愉しきかな！人生一老当益壯の画人たち」 広報印刷物・図録
- 9.12 版画「義勇八犬伝 犬田小文吾悌順」 他 千葉県文化振興財団主催「創作狂言 里見八犬伝」 広報印刷物
- 9.14 版本『南総里見八犬伝』106 冊 他 三菱 UFJ ニコスカード会員誌『partner』
- 9.21 「米国マンハッタン号浦賀渡来一件絵巻」（個人蔵） 画像提供 浦賀コミュニティセンター分館特別企画展「浦賀に異国船がやって来た！」 パネル展示および広報印刷物
- 9.27 平城京跡出土木簡レプリカ 千葉県立現代産業科学館企画展パネル展示
- 10.1 版本『南総里見八犬伝』106 冊 他 NHK BS プレミアム『偉人たちの健康診断 滝沢馬琴』
- 10.5 『砲台縮図絵巻』（石津浜台場絵図） 『西上総文化会報』平成 30 年度
- 10.23 大野太平日記 旧安房南高校木造校舎見学会パネル展示
- 11.9 潜水器ヘルメット・潜水靴 他 千葉県農林水産部水産局水産課『明治期以降の水産千葉の歩み』
- 11.15 版画「北条九代記鴻之台合戦図」 東京都公園協会『緑の水のひろば』第 94 号
- 11.22 長尾城地分見縮図（恩田家文書） 鎌ヶ谷市郷土資料館ミニ展示「鎌ヶ谷市幕末騒動記」 パネル展示
- 11.26 館山城展示風景 ㈱しんきんカード発行『はれ予報』
- 11.30 版画「里見八犬伝 行徳の入江」 他 日本医学図書館発行『医学図書館』66 巻 2 号
- 12.2 館山城展示風景 他 インターネットラジオ番組「たなか久美の御城勉強ラヂオ」 SNS
- 12.23 版本『南総里見八犬伝』表紙 館山商工会議所青年部による土産物等への利用

31. 1. 16	絵はがき「沖ノ島水産講習所漁労実習」	テレビ東京「ありえへん∞世界」
1. 17	版画「八犬伝忠勇揃」	榊国土社『古典文学シリーズ松尾芭蕉と曲亭馬琴』
2. 3	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」 他	カルチャー講座案内チラシ
2. 6	版画「円塚山 道節火遁の術」 他	城西国際大学水田美術館企画展「浮世絵でよむ南総里見八犬伝」 広報物
2. 11	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」	株式会社学研プラス『歴史群像』平成31年4月号
2. 22	フナダマ 他	鈴木啓輔『海と神と日本人』
2. 25	船印「御城米御用」	大田市教育委員会『石見銀山学ことはじめⅡ 水』
2. 26	版画「里見八犬士之内」全8点 他	打吸童子ばやし第27期演奏会にてプロジェクト映画
3. 5	版本『南総里見八犬伝』106冊	NHK WORLD JAPAN「KABUKI KOOL」
3. 14	写真「九十九里浜における干鰯づくり」	NHK『ブラタモリ』銚子編
3. 27	館山城展示風景	テレビ朝日「10万円のできるかな」

(2)貸出

貸出日	資料名	貸与先 (利用目的)
30. 8. 21	版画「曲亭翁精著八犬士随一」 他	金谷美術館特別展「金谷美術館流 南総里見八猫伝」
8. 22	大寺山洞穴出土 須恵器・土師器 他 (総持院所蔵)	和歌山県立紀伊風土記の丘特別展「黒潮の海に糧をもとめて」
9. 11	版画「里見八犬士之内」全8点 他	群馬県立土屋文明記念文学館企画展「『南総里見八犬伝』と群馬 #浮世絵 #絵草紙 #ジュサブロー人形」
9. 24	館山藩士所用兜 (個人蔵) 他	千葉県立中央博物館大多喜城分館企画展「房総ゆかりの甲冑」
10. 11	岩崎巴人「火宅」	碧南市藤井達吉現代美術館他巡回展「愉しきかな！人生一老当益壯の画人たち」

Ⅲ 展示活動

1 常設展

本館の歴史展示室および民俗展示室、館山城（八犬伝博物館）、渚の博物館で常設展示を行いました。民俗展示室では、通常の常設展示のほか、季節展示を行いました。企画展示室では、企画展で使用する時期を除き、テーマ展示として「岩崎巴人 水墨画の世界」、「安房の仏教文化」を開催しました。また、渚の博物館企画展示室では、通年のテーマ展示として「安房の伝統工芸」を開催しました。

2 企画展

(1) 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

- ◆期 間 平成30年4月28日（土）～6月10日（日） 開館39日
- ◆会 場 本館企画展示室
- ◆概 要 前年度に加わった新たな収蔵資料の中から、館山藩・長尾藩関係資料や、大神宮村の名主家に伝わった近代文書、房州うちわ製作道具と経営資料などを紹介しました。展示資料数189点。
- ◆印刷物 ポスター・チラシ（収蔵資料展と併用）



(2) 収蔵資料展「美しいもよう」

- ◆期 間 平成30年7月28日（土）～9月24日（月・祝） 開館51日
- ◆会 場 本館企画展示室
- ◆概 要 夏休み期間に合わせ、子どもや若者に親しみやすい展示内容とするため、「もよう」という切り口で収蔵資料を紹介しました。「縞と格子」「祝いのもよう」「草花と動物」「家紋としるし」の4部構成とし、普段は「もよう」として意識しないカゴ・ザルなどの日用品から、「もよう」に意味を持つ晴れ着や半てんまで、多様な資料を展示しました。関連事業は、館山市と「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」で連携する千葉大学デザイン文化計画研究室の協力により実施しました。展示資料数85点。
- ◆関連事業 ①博物館でもようをさがそう（フロッタージュ体験） ②万祝スタンプでもようをつくろう
③藍染でもようをつくろう
- ◆印刷物 ポスター・チラシ（新収蔵資料展と併用）



展示風景 影のもようにも注目



藍染でもようをつくろう

(3)新・地区展「豊房—豊かな水と暮らす人々—」

◆期 間 平成30年10月6日（土）～11月25日（日） 開館45日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 市内10地区の歴史と文化財を紹介する「新・地区展」シリーズの第7回として、豊房地区を取り上げました。「豊房」という地名は、安房で最も豊かな村になるように願って明治22年に付けられた新しい村名です。この地域には程よく開けた谷がいくつも作り出され、水が豊富で豊かな稔りある村々が展開しています。古代の遺跡や鎌倉とのつながりを示す中世の遺跡が多く、小さな谷で豊かに暮らしてきた歴史を紹介しました。展示資料数170点。

◆印刷物 ポスター・チラシ・しおり・図録

◆関連事業 ①展示解説会 10/27（土）・11/10（土）

②第38回わたしの町の歴史探訪「豊房地区—南条・飯沼・古茂口—」10/28（日）



(4)特別展「房州と江戸・東京—海を行き交う人・モノ・文化—」

◆期 間 平成31年2月2日（土）～3月17日（日） 開館38日

◆会 場 本館企画展示室

◆協 力 (公財)日本海事科学振興財団 船の科学館「海の学び」ミュージアムサポート

◆概 要 江戸に幕府が開かれ、多くの人々が暮らす大都市に成長すると、海路でつながる房州は江戸と密接な関わりを持つようになりました。本展覧会では、江戸時代から明治時代に館山を中心とする房州と大都市江戸（東京）がどのように関わってきたのかを、人・物の動きや文化活動に注目して紹介しました。展示構成は、(1)海をわたる、(2)観光地・館山、(3)産地と商い、(4)海防の拠点—江戸を守る—、(5)江戸遊学と地域教育、(6)文化交流の広がり、(7)移り住む人々、(8)信仰をめぐる房州と江戸の8章です。房州の人々が海に囲まれた立地を活かし、海上交通の担



い手や江戸（東京）への魚介類の供給地としてどのような役割を果たしてきたのかを明らかにするとともに、眺望の良さを誇る観光地としての歩みや、海防の拠点としての性格など多様な側面に注目しました。また、商品流通や観光、教育、文化交流などの面において、一方向的ではなく、双方向的な交流があった点を明らかにしました。展示資料数100点。

◆印刷物 ポスター・チラシ・ワークシート・しおり・図録（カラー56頁）

◆関連事業 ①講演会「近世の房総—特に安房、交流と地域—」（講師：青山学院大学経済学部教授 落合功氏）

2/2（土）

②展示解説会 2/16（土）・3/2（土）

③ワークショップ「海をめぐる旅オリジナルガイドブックをつくろう」3/9（土）



展示解説会



ワークショップ

IV 教育・普及活動

1 印刷物の発行

(1)館報「ミュージアム発見伝」第93号

◆刊行時期 平成30年3月31日

◆部数 1,500部

◆概要 平成30年度に開催した展覧会の概要紹介、収蔵資料の紹介、ミュージアム・サポーターの活動などの記事を掲載しました。

(2)文化財マップ

①「智蔵寺（南房総市・山名）」

◆刊行時期 平成30年8月

◆概要 真里谷武田氏ゆかりの曹洞宗の寺院で、江戸初期の大名三枝守昌の墓や出羽三山行人の墓などを、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」7名（刑部昭一、川崎一、鈴木正、殿岡崇浩、中屋勝義、羽山文子、山杉博子）が調査し、文化財マップを作製しました。

②「豊房地区（南条・飯沼・古茂口）歴史探訪」

◆刊行時期 平成30年10月

◆概要 新・地区展「豊房」の関連事業として実施した「わたしの町の歴史探訪」のコース案内に使用するため、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」6名（青木悦子、金久ひろみ、鈴木以久枝、佐藤博秋、佐藤靖子、吉村威紀）が調査し、文化財マップを作製しました。

③「子安神社（南房総市・和田町海発）」

◆刊行時期 平成30年11月

◆概要 安産・子育ての守護神として知られる神社で、奉納された数々の石碑などを、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（青木悦子、金久ひろみ、鈴木以久枝、佐藤博秋、佐藤靖子）が調査し、文化財マップを作製しました。

④「房州と江戸・東京を結ぶ文化財」

◆刊行時期 平成31年2月

◆概要 特別展「房州と江戸・東京」の開催にあわせ、江戸の商人が奉納した手水鉢など、市内に所在する房州と江戸・東京の交流を示す文化財をピックアップしたマップ3種類を作製しました。①湾岸北部編は博物館ミュージアムサポーター「絵図士」4名（川崎一、鈴木正、中屋勝義、山杉博子）、②平野部編は4名（青木悦子、刑部昭一、鈴木正、殿岡崇浩）、③市南部編は4名（金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木以久枝）が担当しました。

⑤その他の活動

・前年度にマップを作製した市内の長福寺において、6月16日に生涯学習出前講座を行い、学芸員とともに「絵図士」5名が講師となり、境内に所在する文化財について解説しました。

・新・地区展「豊房」や特別展「房州と江戸・東京」など、博物館の展覧会とコラボした活動を行いました。

・平成31年3月より、過去に作製したマップに掲載した文化財を写真で紹介するパネル展示を定期的で開催することになりました。博物館本館2階の休憩室を会場として、2か月ごとにテーマを変え、原稿作成等の事前準備や展示作業も「絵図士」が行っています。

2 講座・教室

(1) 歴史体験教室「甲冑を着よう」

◆開催日 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) 計60日 毎週日曜・祝日開催

◆概要 入館者が戦国時代の甲冑(レプリカ)を着用し、その重さや感触を体験することにより、当時の武具に対する認識を深め、歴史への興味・関心を持つことを目的としています。また、甲冑の着付けや着用方法・基礎知識の解説はミュージアム・サポーター「甲冑士」が行っており、ボランティアの学習・活動の場ともなっています(平成30年度末時点で19名登録)。体験用甲冑は2領(赤糸威・紺糸威)あり、1領ずつ交互に使用しています。また、12月2日には県立中央博物館大多喜城分館からの依頼により、「甲冑士」が学芸員とともに当館で使用する甲冑を持参し、出張着用体験を実施しました。

◆参加人数 493人

(2) 甲冑士養成講座

◆開催日 平成30年6月30日(土)

◆概要 歴史体験教室「甲冑を着よう」において、甲冑着用を希望する入館者に着付けを行い、着用方法や甲冑の基礎知識を解説するミュージアム・サポーター「甲冑士」の新規募集と養成講座を行いました。

◆参加人数 2人

(3) 歴史教室「古文書を読んでみよう」

◆開催日 平成30年6月～平成31年3月 毎月第3土曜日(午前)・火曜日(午前・午後) 全3クラス各10回

◆概要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ講座です。初心者向けに3クラスを開講しました。

◆参加人数 土曜午前クラス29人・火曜午前クラス47人・火曜午後クラス40人

(4) 安房学講座(館山市文化財保護協会との共同開催)

◆開催日

- ①平成30年6月6日(水)「館山の御船の祭り」(講師:館山市教育委員会生涯学習課 山村恭子主任学芸員)
- ②同 7月4日(水)「縁切寺・東慶寺と海を渡った女たち～江戸の離婚を読み直す!～」(講師:千葉県文書館 實形裕介氏) ※千葉県文書館出前講座として開催。
- ③同 9月9日(日)「新出の中世の鰐口について」(講師:千葉県教育庁文化財課 植野英夫氏)
- ④同 10月7日(日)「宝治合戦と律宗の房総進出—鎌倉時代の政治史と文化—」(講師:千葉歴史学会 外山信司氏)
- ⑤同 12月5日(水)「安房とのかかわりで見ると加曾利貝塚」(講師:千葉市立加曾利貝塚博物館長 高梨俊夫氏)
- ⑥平成31年1月9日(水)「房総の地質とチバニアンを語る」(講師:市原市地磁気逆転地層保存活用委員会 堀内正貴氏)
- ⑦同 2月6日(水)「近世安房の「藩」・大名」(講師:千葉県文化財保護協会 筑紫敏夫氏)
- ⑧同 3月6日(水)「安房の仏像」(講師:宝聚寺住職 濱名徳順氏)



第5回 高梨俊夫氏

◆概要 「安房の歴史と文化」および「房総の海と生活」を共通テーマに掲げ、安房地方を研究している方を講師に迎えて各分野にわたって講演いただきました。館山市文化財保護協会と館山市立博物館で組織された安房学講座実行委員会が企画運営しています。

◆参加人数 のべ556人（全8回）

(5) なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～（館山市図書館との共同開催）

◆開催日 第1回（図書館編）平成30年7月31日（火） 第2回（博物館編）同 8月6日（火）

◆概要 地域学習の宿題に困る小学生を図書館司書と博物館学芸員が連携してサポートする講座を平成28年度から開始しました。第1回は図書館、第2回は博物館本館で開催し、司書が図書の探し方や辞典の引き方など、学芸員がモノを観察するコツなどを説明するとともに、両施設の見学を行いました。

◆参加人数 第1回27人・第2回13人



図書館編



博物館編

(6) 歴史教室「活弁八犬伝」

◆開催日 ①平成30年8月25日（土）「二人の^{はまじ}浜路」
②同 9月29日（土）「八犬士、危機一髪」

◆概要 長大な南総里見八犬伝のストーリーを、錦絵やイラストをスクリーンに写しながら、活弁スタイルでお話する講座です。今年度は、八犬士である犬塚信乃が、死んだはずの幼馴染と同じ名前の女性と出会う「二人の浜路」と、同じく八犬士である小文吾と荘助が、過去の行いのせいで領主の母親から恨みを買って、捕縛されてしまう「八犬士、危機一髪」を紹介しました。

◆参加人数 ①25人 ②16人



(7) 歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第38回

◆開催日 平成30年10月28日（日）

◆場所 豊房地区（南条・飯沼・古茂口）

◆概要 38回目となる今回は、新・地区展「豊房—豊かな水と暮らす人々—」の関連事業として実施しました。「絵図士」手作りのイラストマップを片手に、古墳時代の横穴墓や各区の寺社、路傍の石仏や人柱伝説のある堰



などを巡りました。マップを作製する際の調査では、「絵図士」の皆さんによって新たな「やぐら」が確認されています。

◆参加人数 43人

馬頭観音群（古茂口）

(8) 特別展講演会

◆開催日 平成31年2月2日（土）

◆会場 本館集会室

◆協力 (公財)日本海事科学振興財団 船の科学館「海の学び」ミュージアムサポート

◆概要 特別展の関連事業として開催しました。青山学院大学経済学部教授の落合功氏を講師に迎え、「近世の房総—特に安房、交流と地域—」をテーマにご講演いただきました。江戸時代から明治時代の海上交通や房州の立地条件について解説した上で、房州で実際に起こった事例を元に、難破船への対応や地域経済に与えた影響などについてお話いただきました。

◆参加人数 124人



3 博物館実習

◆期間 平成30年9月5日（水）～9月11日（火） 6日間

◆人数 1名（東京海洋大学）

◆概要 学芸員資格の取得を目指す学生が、資料の取扱い実習、教育普及事業（甲冑着用体験・安房学講座）の補助、八犬伝博物館の展示替え作業など、幅広い業務を体験しました。



V 調査・研究活動

1 学芸員の活動

(1)岡田晃司 (主任学芸員)

◆研修・会議等

- ・平成30年6月4日 岡本城跡保存管理計画策定委員会 (同年8月29日、11月26日、平成31年3月4日にも出席)

◆講師派遣・研究発表

- ・平成30年5月15日 市川中央老壮塾学習会講師「里見氏と南総里見八犬伝」
- ・同 6月7日 館山地区神社総代会定期総会講演会講師「館山市内の神社とその故事・伝承」
- ・同 6月14日 館山市中央公民館ふるさと講座講師「館山市の国登録文化財—建造物から見る近代」
- ・同 6月16日 生涯学習出前講座 (長福寺) 講師「長福寺の文化財」
- ・同 7月5日 生涯学習出前講座 (館山市立九重小学校) 講師「九重地区の歴史」
- ・同 7月19日 港湾都市協議会講師「歴史の中の東京湾世界—館山からの視線—」
- ・同 9月12日 千葉県生涯大学校南房学園講座講師「房総里見氏」
- ・同 9月25日 千葉県中途失聴者・難聴者協会集い講師「館山あれこれ」
- ・同 10月19日 木更津市畑沢公民館はたざわ歴史講座講師「里見氏の歴史と木更津」
- ・同 10月26日 生涯学習出前講座 (地区公民館巡回研修) 講師「豊房地区の歴史」
- ・同 10月30日 館山市中央公民館サークル連絡会視察研修会講師「館山道周辺の歴史」
- ・同 11月13日 千葉県生涯大学校南房学園講座講師「房総里見氏・史跡めぐり」
- ・同 12月12日 館山市中央公民館ふるさと講座講師「稲村城跡と周辺の歴史」
- ・同 12月21日 生涯学習出前講座 (安房高同窓会那古支部) 講師「身近なところに歴史がある—那古の歴史・館山市の歴史・房総里見氏から見る日本の歴史—」
- ・平成31年3月8日 安房地区公民館連携講座講師「安房の名工・後藤義光とその弟子たち」
- ・同 3月24日 南房総市丸山公民館講座講師「中世丸山川流域の文化と丸氏」

◆原稿執筆等

- ・「真野城跡」(館山市文化財保護協会会報『館山と文化財』52号)

◆その他

- ・千葉県文書館古文書調査員委嘱 (平成30年4月～平成31年3月)

(2)宮坂新 (学芸員)

◆研修・会議等

- ・平成30年8月3日 千葉県博物館協会地域振興委員会第8回安房地区ブロック会議 (館山市立博物館本館)
- ・平成31年2月27日 千葉県博物館協会研究報告会「共生社会の中の博物館～特別支援教育とのかかわりから～」(千葉県立現代産業科学館)

◆講師派遣・研究発表

- ・同 5月26日 安房歴史文化研究会公開講座「儒学が結んだ房州と江戸」
- ・同 7月18日 東京海洋大学フレッシュマンセミナー「海から見る館山の歴史」(“渚の駅” たてやま)
- ・平成31年3月14日 生涯学習出前講座講師「房州と江戸・東京—海を行き交う人・モノ・文化—」

VI 資料の収集・保存

1 新規収蔵資料

平成30年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	採集	受託	合計
点数	1,981	58	111	50	29	2,229

・受託資料のうち更新分は含まない。

(1) 寄付資料

寄贈者（敬称略）	資料名	数量
座間津禰子	南房総市 「採茶庵萬里歳旦帖」 他	6
笹谷明	松戸市 染物店関係資料・館山土産品 他	107
宮訓子	館山市 日本赤十字社記念盃	2
竹中佑司	館山市 柏崎浦絵図	1
山鹿公子	南房総市 房日新聞連載小説「春の國」他挿絵原画	691
山田郁	館山市 継竿・引札 他	14
鈴木恵弘	館山市 高野山妙音院寄進脇差請取状 他	3
出口勝則	館山市 三十七粒砲用薬莢 他	109
福原宣之	南房総市 赤色公衆電話 他	53
小林康弘	館山市 サメ頭部骨格標本	2
豊崎榮吉	館山市 船舶設計製図用具 他	121
斉藤和重	松戸市 地方馬検査記念盃・貼交六曲屏風 他	148
小澤忠雄	南房総市 炭火アイロン・句集 他	19
瑳川八千代	館山市 八犬伝創作舞踊小道具 他	3
松本昇	北海道 「南総里見八犬伝音頭」CD	1
山口寛	館山市 山口家文書	一括
保田善雄	南房総市 香時計	1
青木悦子	館山市 大日本国防婦人会襷 他	2
山形達哉	館山市 八犬伝クリアファイル 他	9
大野廣平	館山市 大野太平遺稿 他	69
前田ひろ子	館山市 豊房村村勢要覧	1
三上英男	館山市 躰（はそう）	1
山崎弘道	白井市 北条線鉄道工事関係書状・記念盃	2
石井豊夫	木更津市 薙刀・山萩神社神主肖像画 他	4
太田茂	館山市 館山海軍航空隊本部庁舎被災写真	1
鈴木茂則	館山市 鈴木家文書・日露戦役従軍記念盃 他	62
笹子三喜男	館山市 斉藤光雲画屏風	1

石井雅人	東京都	石井家文書	484
川名桂	館山市	沼区前山組天神講掛軸 他	2
井上文太	館山市	井上文太画短冊	1
佐久間邦彦	館山市	白土	1袋
館山地区合同祭礼百年祭実行委員会		百年祭記念手ぬぐい・同リーフレット	2
館山市立館野小学校		学校日誌 他	56
南房総市		「八房と狸」石膏像	1

(2) 購入資料

資料名	数量	資料名	数量
小野鷺堂和歌短冊「雲」	1	野崎左文『日本名勝地誌』東海道上之部	1
絵はがき「房州鏡ヶ浦 八幡ノ海岸」	1	歌舞伎絵番付「里見八犬伝」	1
絵はがき「房州鏡ヶ浦汐入川ノ風景」	1	絵はがき「鷹の島地引網」	1
絵はがき「房州鏡ヶ浦北條ノ棧橋」	1	日蓮大士真実伝小人形細工全図	1
絵はがき「房州那古ノ観音」	1	円蔵院弘法大師 1050年遠忌供養塔建立寄進用紙	1
絵はがき「房州那古海岸ノ網引」	1	絵はがき「(安房名勝) 那古寺庭内鳳凰の松」	1
絵はがき「房州 鏡ヶ浦鷹ノ島」	1	絵はがき「(安房名勝) 那古寺境内大蘇鉄」	1
絵はがき「房州北條ノ海水浴」	1	絵はがき「房州鏡ヶ浦 八幡神社ノ鳥居」	1
絵はがき「房州豊津ノ海岸」	1	絵はがき「(安房名所) 館山町真倉慈恩院の雨」	1
絵はがき「房州鏡ヶ浦 船形全景」	1	絵はがき「(安房名所) 那古寺観世音堂正面」	1
絵はがき「房州鏡ヶ浦海岸」	1	『夏涼冬暖之楽土 房州案内 (昭和4年版)』	1
房州北條町旅館濱田屋年賀絵はがき	1	『鏡ヶ浦八景 道しるべ』	1
絵はがき「(安房名所) 汐入川魚釣」	1	『夏の房総』	1
絵はがき「(安房名勝) 那古寺観世音堂」	1	『史談と伝説の房総案内』	1
嶺岡牧関係御用留	14	『房総の俚謡』	1
『関東地震調査報告』第1・第2	2	歌川国芳「里見八犬伝 犬村大角礼儀・節婦雛衣」	1
「房州小松原鏡忍寺縁起」	1	山田年貞画幅「南総里見八犬伝 対牛楼」	1
相模屋旅館案内印刷物「外房鴨川」	1	鳥瞰図「小湊山誕生寺 房州名所図絵」	1
竹本旅館案内印刷物「房州鴨川」	1	房州鋸山名称絵はがき (袋入)	5
曲亭馬琴肖像画自賛幅	1	「千葉県遊覧ドライブ地図」	1

(3) 移管資料

資料名	数量	旧保管者
北条町町会議員選挙人名簿 (昭和4年)	1	館山市選挙管理委員会事務局
開票所用黒電話	1	館山市選挙管理委員会事務局
市制施行20周年・市庁舎落成記念灰皿 (昭和35年)	1	館山市総務課
館山市収入証紙・同原版 他	103	館山市会計局

豊房村地所共有連名簿（明治27年）他	5	館山市行革財政課
--------------------	---	----------

(4) 受託資料（新規のみ）

寄託者（敬称略）		資料名	数量
座間津禰子	南房総市	安馬谷区山車人形衣装 他	11
鶴谷八幡宮	館山市	酒井家文書	3箱
北町共同墓地	館山市	木造阿弥陀如来坐像 他	2
小川日出美	館山市	甲冑一式 他	13

2 施設くん蒸

当館では、資料保全のため、収蔵庫や展示室へのガス投入による虫やカビの防除作業を5年に1度実施しています。平成30年度には下記のとおり施設くん蒸を実施しました。

実施期間 平成30年6月18日（月）～6月25日（月） ※準備・換気・撤収作業を含む

実施場所 市立博物館本館 収蔵庫および前室、館山城（八犬伝博物館）全館

作業者 関東港業株式会社 千葉営業所

Ⅶ 例規

○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

最終改正 平成31年3月22日条例第5号

(設置及び目的)

第1条 本市は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定により、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

第3条 博物館は、館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の所管に属する。

(事業)

第4条 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがいおおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

第5条 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

第6条 博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	100円	200円	80円	150円
一般	200円	400円	150円	300円

2 前項の規定にかかわらず、特別展を開催している期間においては、博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	150円	300円	100円	250円
一般	250円	500円	200円	400円

(観覧料の減免)

第7条 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

第8条 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、還付することができる。

(博物館協議会)

第9条 博物館に館山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、7人以内とする。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下

「指定管理者」という。)に博物館の管理を行わせることができる。

(指定管理者が行う業務)

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の運営に関する業務
- (2) 博物館の維持管理に関する業務
- (3) 博物館の観覧に係る料金(以下「利用料金」という。)の徴収等に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

(利用料金)

第12条 指定管理者が徴収する利用料金は、第6条の表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、同項の規定により利用料金を定めることが適当でないことを認める場合には、あらかじめ市長の承認を得て、利用料金を定めることができる。

3 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

(指定管理者が行う管理の基準)

第13条 指定管理者が行う管理の基準については、この条例及び館山市指定管理者の指定手続等に関する条例(平成18年条例第42号)に定めるもののほか、教育委員会が別に定める。

(読替え)

第14条 第10条の規定により指定管理者に博物館の管理を行わせた場合における第7条、第8条及び附則第2項の規定の適用については、第7条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料」とあるのは「指定管理者は、公益上その他必要と認めるときは、市長の承認を得て、利用料金」と、第8条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「市長が特別の理由があると認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特別の理由があると認めるときは、市長の承認を得て」と、附則第2項(見出し

を含む。)中「観覧料」とあるのは「利用料金」とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。

(観覧料に関する特例)

2 当分の間、館山市立博物館分館の常設展の観覧料については、無料とする。

※以下省略

○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

最終改正 平成31年3月22日教委規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号。以下「条例」という。)に基づき館山市立博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日)

(2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

第4条 博物館に入館し観覧しようとする者（以下「観覧者」という。）は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。

（観覧料の免除）

第5条 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
 - (2) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）で定める身体障害者及びその介護者が観覧するとき。
 - (3) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）にいう知的障害者及びその介護者が観覧するとき。
 - (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）で定める精神障害者及びその介護者が観覧するとき。
 - (5) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者及びその施設の職員が、当該施設の行事として観覧するとき。
 - (6) 市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校及び高等学校の園児、児童及び生徒並びにその引率者及び保護者が、当該学校等の行事として観覧するとき。
 - (7) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。
- 2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第4号までに規定する場合を除き、あらかじめ教育委員会に観覧料の免除の申請をしなければならない。
- 3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、観覧券を交付するものとする。
- （入館の制限）
- 第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。
- (1) 所定の観覧券を所持しない者
 - (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者
 - (3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると

認められる者

- (4) その他管理上支障があると認められる者（禁止行為）

第7条 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為をすること。

（損害賠償）

第8条 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

（読替え）

第9条 指定管理者（条例第10条に規定する指定管理者をいう。）に条例第11条に規定する業務を行わせる場合における第2条第2項、第3条第2項、第4条、第5条及び第6条の規定の適用については、第2条第2項中「館山市教育委員会（以下、「教育委員会」という。）は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第3条第2項中「教育委員会は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第4条中「第6条」とあるのは「第12条」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第5条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条第1項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同項第7号中「教育委員会が公益上必要と認める」とあるのは「指定管理者が公益上必要と認め、市長の承認を得た」と、同条第2項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会は」とあるのは「指定管理者は、市長の承認を得て」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第6条中「館長」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

※以下省略

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則（平成17年8月19日教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第5号

改正 平成17年8月19日教委規則第11号

（趣旨）

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例（昭和57年条例第15号）第10条の規定により館山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要がある場合において、会長が招集する。

第4条 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（関係職員の出席）

第5条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

（庶務）

第6条 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

（委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

館山市立博物館年報

平成 30 年度版

発行日 令和元年9月30日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213